

令和 7 年度
決 算 報 告 書

第22期事業年度

自 令和 7年 4月 1日
至 令和 8年 3月31日

国立大学法人香川大学

令和7年度 決算報告書

国立大学法人香川大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	9,768	10,590	821	(注1)
施設整備費補助金	1,205	1,254	50	(注2)
補助金等収入	674	2,543	1,869	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	－	－	－	
自己収入	29,355	29,439	85	
授業料、入学料及び検定料収入	3,678	3,232	△ 446	(注4)
附属病院収入	25,371	25,740	369	(注5)
雑収入	306	467	162	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	2,062	2,235	173	(注7)
引当金取崩額	286	293	8	(注8)
長期借入金収入	－	－	－	
貸付回収金	－	－	－	
計	43,350	46,355	3,005	
支出				
業務費	38,495	39,282	786	
教育研究経費	13,408	13,992	584	(注9)
診療経費	25,088	25,289	202	(注10)
施設整備費	1,205	1,254	50	(注11)
補助金等	421	1,755	1,334	(注12)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	2,062	2,215	153	(注13)
長期借入金償還金	1,422	1,422	1	(注14)
計	43,605	45,928	2,323	
収入－支出	△ 255	427	682	

※上記の金額は、すべて百万円未満四捨五入で表示している。

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、予算段階では予定していなかった国の追加予算における国立大学法人の行う教育研究事業等に伴う運営費交付金が交付されたことにより、予算金額に比して決算金額が821百万円多額となっている。
- (注2) 施設整備費補助金については、予算段階では予定していなかった事業の決定に伴う追加予算が交付されたことにより、予算金額に比して決算金額が50百万円多額となっている。
- (注3) 補助金等収入については、獲得額の増加により予算金額に比して決算金額が1,869百万円多額となっている。また、補助金等収入には、授業料等減免費交付金が751百万円含まれており、本補助金は授業料等免除に使用している。
- (注4) 授業料、入学料及び検定料収入については、多子世帯に対する大学無償化制度の拡大等により、予算金額に比して決算金額が446百万円少額となっている。
- (注5) 附属病院収入については、診療単価が当初見込んでいた数値を上回ったことに伴う収入増により、予算金額に比して決算金額が369百万円多額となっている。
- (注6) 雑収入については、当初計上していなかった過年度の決算剰余金のうち目的積立金にならなかったものを使用したこと等により、予算金額に比して決算金額が162百万円多額となっている。
- (注7) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、寄附金収入等の受入額の増加により、予算金額に比して決算金額が173百万円多額となっている。
- (注8) 引当金取崩額については、当初予算算出時より対象人数が増加したことにより、8百万円多額となっている。
- (注9) 教育研究経費については、人件費が増加したこと等により予算金額に比して決算金額が584百万円多額となっている。
- (注10) 診療経費については、医薬品及び医療機器整備、退職手当等が増加したことにより予算金額に比して決算金額が202百万円多額となっている。
- (注11) 注2に示した理由により、予算金額に比して決算金額が50百万円多額となっている。
- (注12) 注3に示した理由により、予算金額に比して決算金額が1,334百万円多額となっている。
- (注13) 産学連携等研究経費の受入額の増加に伴う支出額の増加等により、予算金額に比して決算金額が153百万円多額となっている。また、決算額のうち868百万円は前年度以前の収入を財源とした支出となっている。
- (注14) 長期借入金償還金については、借入金利率の見直し等により、予算金額に比して決算金額が1百万円多額となっている。